



協同組合 浅草商店連合会 発行

浅草商連新聞

Vol.04
2025年元旦

浅草商店連合会 理事長 新年のあいさつ

謹賀新年明けましておめでとうございます。平素より当会活動に対する皆様の多大なるご理解とご協力に感謝致します。2025年は良くも悪くも日本国内外にとっても大きな変動が予想されます。浅草商連は巳年に因んで巳（蛇）のしなやかさ（＝柔軟性）、ずる賢さ（＝知恵）、しつこさ（＝根気強さ）を持って、この一年の浅草が少しでも幸多き街になるように微力ながら頑張る所存でございますので、なお一層のご理解ご協力ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

追伸：「浅草商連新聞Vol.03 2024.11.01」冒頭記事「パレードコンテストを開催しました」で自主警備に参加協力していただきました「馬道一丁目町会青年部」様のお名前の記載漏れをしてしまいました。直ちに謝罪と訂正版の発行をいたしました。改めてここに深くお詫び申し上げます。



理事長 稲葉 和保

「新春を迎えて一言！」

新年明けまして御目出度うございます。

昨年は大谷翔平ブーム？頑張れ！翔平、大好きです、で年が明け。私も浅草の皆様方の暖かい御指導を背に、そして御協力に支えられて、一年大過無く新年を迎える事が出来、心より厚く御礼申し上げます。さて、本年は、アメリカ合衆国大統領トランプが再選し、日本がどう変わるか！気候変動（地球温暖化対策）、地経学等々、色々問題が山積しておりますが我々の日本、いや浅草はどう進むのだろうか！？スカイツリーの開業（2012年）から、あっという間に今日に至りました。コロナ禍からようやく遠のき現在浅草の町が商店街が大きく変貌し老舗の店並びが変わりつつあります。これが時代の流れと言うのでしょうか？味噌醤油の貸し借りの時代が懐かしく恋しくなる今昔です。浅草商店街の皆様のご指導、御協力に支えながら、また一年宜しくお願い申し上げます。



浅草商店連合会 副理事長
浅草商連新聞 実行委員長 宮田 新司

浅草おもてなし継承事業 11月23日(土)、24日(日)に開催しました

主催：協同組合 浅草商店連合会 後援：台東区 観光マナー啓蒙キャンペーン

観光客で溢れている浅草地区。インパウンドも含め、来街者の人たちに観光マナー知ってもらうため、啓蒙活動イベントを開催しました。観光マナーをピクトグラムでデザインしたノベルティなど作成して広く広報活動を行いました。また、新にゃか、オレンテくん、いっぷくちゃんと3人の浅草を代表するゆるキャラ、芸人さんなどにも協力してもらい、通りを練り歩いて啓蒙活動を実施しながらゴミ拾いをおこないました。浅草商店連合会では、今後も観光マナーの啓蒙啓蒙活動や浅草のまちの美化について取り組みを積極的に行ってまいります。



「第12回弘前ねぶた浅草まつり」11月22日(金)～24日(日)の3日間開催しました



開催中は、りんごの直売会などの弘前観光物産市のほか、弘前ねぶた囃子の運行を行いました。青森県津軽地方の夏を彩る「弘前ねぶたまつり」の始まりは、昔、農民が夏の忙しい時期に襲ってくる眠気を追い払うため、睡魔を船や燈(とう)籠(ろう)などにのせ、川に流した「ねぶり流し」という行事から発展し、祭りになったとされています。国際観光都市浅草に地方の郷土芸能やまつりを誘致することにより浅草を訪れる国内外の観光客の皆様へ、地方の郷土芸能やお祭りを体感して頂く事で、地方へ足を運んでもらうきっかけと浅草のエリア価値の向上を目指して毎年11月に多くの方々の協力を頂き開催しています。

浅草西参道商店街振興組合



ほおずき会をご存じですか？



「ほおずき会」は平成元年、浅草、上野、隅田川界隈の邦楽愛 好家と浅草芸妓と相集い、日本の伝統芸能を通じて親睦を深め、ひいては地域の繁栄と東京浅草組合の発展をお手伝いしようと結成されました。お蔭さまで本年9月に雷5656会館ときわホールにて三十六回を迎え開催をさせていただきました。このように継続して開催を重ねてこれましたのも、会員一同の熱意と研鑽の賜物と思っておりますが、何よりご支援下さる皆様の温かい応援があってこそ感謝いたしております。近年、浅草の地も江戸文化の中心として注目されておりますが、由緒ある江戸芸文化を一層大切に致したく、これからは会員一同心を込めて演じ、活動してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

ほおずき会 会長 高岡 修一（写真中央）

写真提供：東京新聞したまち支局

浅草エリアでのイベント開催一覧（商店街関連）のご案内 令和7年1月～2月

イベント名	開催日	開催場所	主催	問い合わせ先
東京三大タワーまつり	1月5日(日)	浅草九劇	浅草西地区商店街協議会	090-6170-7446
浮世絵と歌舞伎まつり THE ASAKUSA	1月10日(金)～2月11日(火・祝)	浅草西参道商店街 奥山おまいりまち商店街振興組合	浅草西参道商店街 奥山おまいりまち商店街	03-3843-0052
浅草西地区アイドルまつり	2月2日(日)	浅草VAMPKIN	浅草西地区商店街協議会	090-6170-7446
新仲見世商店街 謝恩福引抽選会	2月8日(土)～2月10日(月)	新仲見世商店街	新仲見世商店街振興組合	03-3844-5400
川柳コンテスト	2月16日(日)	浅草ビューホテル2Fビートデッキ	浅草国際通り公栄会	03-3845-6776
広い浅草ウォークラリー	2月24日(月・祝)	浅草地区全域	浅草商店連合会	03-3841-9250
浅草大抽選会	3月1日(土)	浅草ROX前特設会場	浅草商店連合会	03-3841-9250

浅草商店連合会加盟商店会の紹介 Part.3

浅草商店連合会に加盟している商店会を毎号ご紹介いたします。今回は「浅草すしや通り商店街振興組合」と「浅草六区通り会」です。

浅草すしや通り商店街振興組合

雷門通りと六区興業街を結ぶ80余年の歴史を持ち以前は、「すしや横丁」と呼ばれた商店街です。平成23年2月アーケードに生まれかわりました。

浅草燈籠祭



通年で浅草すしや通り大感謝祭



夏！すしや通り大感謝祭



今年からはすしや通りライトアップ事業を始め商店街の活性化に努めています。

浅草すしや通り商店街振興組合 理事長 富永 照子（写真中央）

浅草六区通り会

浅草六区通り会は大正、昭和を楽しませて頂いた浅草芸人の発祥地、令和に至ても、東京大衆歌謡楽団や若手芸人を輩出して居ります。2025年 大河ドラマ「べらぼう ～蔦重栄華乃夢噺～」は、江戸の木版画が絡んだドラマ、版画制作に携われて居られるイギリス生まれの当会員もおられ、培われた文化の織り込まれた会員仲間の集まりで通り会を進行して居ります。



来賓客が明るく楽しく通りを滞在して頂く様、毎月定期的に、道路、街路灯の整備を会員と共に若手芸人を含め施行して居ります。近日に於いても、街路灯のLED化や防犯カメラの設置など、わずか100mの通りに安全な環境整備しています。



浅草六区通り会 会長 梶浦 博和

15本の街路灯の表裏に、浅草を愛し育てた浅草六区ゆかりの文人・芸人大宮敏光・渥美清など33名の写真とプロフィールを取付け、浅草らしさを演出している。浅草六区通りに思わぬ発見を募って頂きたいと期待して居ります。

過去に学び未来へ「浅草の現在（いま）を知る事業」委員会 開催報告

コロナの大波を努力と我慢で乗り切って、街にようやくもどってきた賑わい、ところが今度はインバウンドの大津波でこれまでの町が様変わり、これからの浅草をどうする？代々受け継いだ老舗の誇りをどう次世代につないでいく？

第1回全体委員会 日時：10月22日 午後2時～ 会場：JRAパークホール

多様化、国際化する、止められない変化に、本気で挑むときと、立ち上げた「浅草のまちの現在を知る事業」。第1回全体委員会は稲葉和保理事長をはじめ副理事長3名、理事6名、ほか区議、行政などの様々な立場の出席者が、アドバイザーの総務省外部専門家地域力創造アドバイザー・国交省観光庁外部専門家の福井正樹氏のもと、立場の垣根をを超えて一人ひとりから意見が寄せられた。

主な内容は・すしや通りも新仲も変化がすごい。・客の年齢層、若くなっている。・老舗を堪能する人、少ない。・どっと入ってくる若者、変化する時代にどう対処するのか。この現状に合う商売が必要か。・外国人客が増えているが、日本人の客を増やす努力が必要。・とはいえ、増える外国人向けのものを売らないと、商売が成り立たない。・歩き食い、店頭行列等の善悪論じるのは、既に限界。倫理的には問題だが儲かる面も。・インバウンド景気がいつまでつづくのか。終わった時、新規参加者は逃げていくだろう。残った浅草の人たちが浅草を支えていくことになる。真剣に。・コロナ下、学んだことは、家業をしっかりとやること。店がつぶれては何も残らない。日々、日本一の店を作ろうと、社員一丸でがんばっている。日本を味わうところが浅草だと云えるように。

最後に、この日のまとめとして稲葉理事長は「日本に観光客が増えているのは単純に円安だから。日本の国の歴史に興味があってくる人はそんなにいない。おもしろそう、おいしそう、安そうという単純な欲である。商売マナーとして、大家さんが良く考えて貸してほしい。貸した店舗が街に迷惑をかけても改善しないのは、本当の意味での愛情や覚悟が感じられない。隣に迷惑をかけているならやめようかという気持ちが浅草の良さ。これを失っては浅草ではない。跡継ぎの問題は、親が息子から尊敬されること。自分の商売の悪口を云わないこと。各店舗で簿記を学び、採算がとれるようになれば、しぶとい街になる。長期的な街づくりとは、治安を良くしつづけること。これは、観光客だけでなく生活者にとっても云えること。



第2回全体委員会 日時：11月28日 午後2時～ 会場：JRAパークホール

今回の全体委員会は、東京都議会議員、台東区議会議員の出席も得て外部専門家地域力創造アドバイザー・国交省観光庁外部専門家の福井正樹氏も含め計27名の出席のなか、仲見世商店街とオレンジ通り商店街をターゲットに2007年から2024年の変遷について発表。



『仲見世通り』は浅草商店連合会 稲葉理事長から。7ブロックからなり計87店舗数は変わらない。物販店が減って飲食店が増加した。結果として、その場で消費するもの、つまり飲食。それと思えばつくりとして土産物屋。反して物販が苦戦してる。

『オレンジ通り商店街』はオレンジ通り商店街振興組合 宮田・終身名誉顧問から。総店舗数45店舗は変わらないが、残った老舗は13店舗。結果、17年間で大きく様変わり、代替わり等で店が変わり、売る物も変わった。さらに、マンションの建設も。今や“隣は何をする人ぞ”になってしまっている。各店主の集まる機会がなく、仲間意識がなくなった。向こう三軒両隣の関係、意思の疎通が必要。どうしたら楽しい街になるか。お客様に頼っているのはダメ。一番に我が町「浅草」を好きになこと。町のいろんな活動に参加して、仲間がいること。大きなネックとしてある跡継ぎ問題は、親子が仲良し。店が大好き。つまり店を潰したくない。何が何でも繋いでいく気持ち。

最後に稲葉理事長から「幸せなことにシャッター通りにはなっていないことに感謝。究極として、豊かになるには、お金を落としてもらう事。現状をよく知り、各店の本気のヤル気が望まれる。

全体委員会は、あと2回を予定している。浅草の活性化、各店舗の繁栄に繋げていきましょう。」

大竹 悦子 記

商連新聞では記事・情報・ご意見を大募集しています

浅草商連新聞は、浅草界隈の商店街や地域の情報を皆さんにお伝えし、情報共有と交流を深めることを目的に発行しています。皆さんから情報提供やご意見など随時募集しております。事務局まで是非お寄せください。



ご意見や情報提供、新規会員お申込みは

協同組合 浅草商店連合会 事務局

〒111-0032 台東区浅草1-25-15 ROX5階

TEL 03-3841-9250 FAX 03-3842-9244